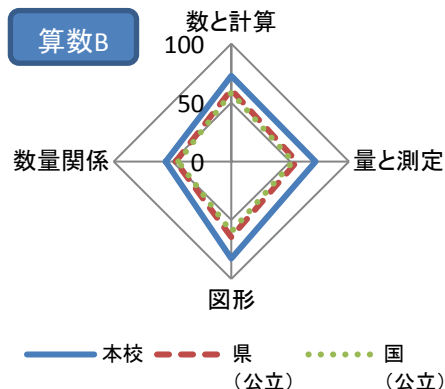
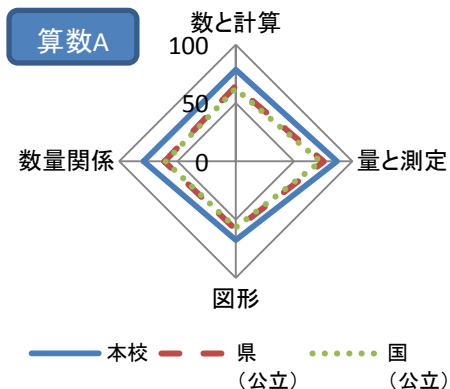


平成30年度 指導方法等の改善計画について【算数】

海田町立海田小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率(A問題 本校79%, 県66%, 国63.5%)
(B問題 本校67%, 県54%, 国51.5%)

本年度の結果について



○全体的な傾向
A問題は79%, B問題は67%の正答率でA問題, B問題ともに全国平均を約15%, 広島県平均を約13%上回り, 基礎的・基本的な知識や活用については定着が図られていると考えられる。しかし, 活用の問題においては, 一つの事象について表した, 二種のグラフを着目する視点を変えて読み取ることに課題が見られた。また, 知識を問う問題でも, 公式そのものは理解できているものの, 定義や意味までは理解できておらず, 低い正答率であった。

○昨年度の課題への取組の成果
昨年度は, 割合を求めることに課題があった。今年度は該当問題において72.7% (A問題8)の正答率であり, 県平均を18.8%上回ることができた。身近な事象について割合を用いて考えたり, 必要な情報を選択して問題を解いたりする学習を継続して行った結果であると

重点課題

【課題1】
図形の領域では, 円周率を求めるために円周を求める公式を活用し, 立式することができていない。円周率の意味の理解が十分でない。(45.5%)

【課題2】
数量関係の領域では, どの数値, どの言葉がもとにする量であるかを理解することができていない。総数や変化など視点を変えてグラフを読むことができていない。また, 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることの適切な判断ができていない。(25.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ・「かけられる数×かける数=答え」は, 「答え÷かけられる数=かける数」などかけ算とわり算の関係を理解させる。
- ・円周の長さや直径の長さを測り, 円周率の計算をして実感を伴わせ, 公式の意味を理解させる。

- ・社会科や理科など他教科でも, グラフを読み取る学習を充実させる。(たて軸, よこ軸, 表題などの確認)
- ・それぞれのグラフの特徴をふまえ, 実際に扱う場面を具体化して指導を行う。特に割合を表す帯グラフ, 円グラフの指導を充実させる。

全校での目標(キャッチフレーズ)

式を言葉で説明しよう!
たしかめをしよう!

表やグラフを読んだり書いたりしよう!

平成31年度 全国学力・学習状況調査 数値目標

A問題【74】
数と計算: 75
量と測定: 85
図形: 63
数量関係: 72

B問題【66】
数と計算: 70
量と測定: 66

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 学期末テスト	5・6年生 CRT	5年生 全国学力類似問題	5・6年生 学年末テスト・NRT
目標値	80	85	85	85	80	A問題74 B問題66	85・全国平均を上回る
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 学期末テスト	5・6年生 CRT	5年生 全国学力類似問題	5・6年生 学年末テスト・NRT
目標値	80	85	85	85	80	A問題74 B問題66	85・全国平均を上回る

図形: /5
数量関係: 55

実施後数値							
-------	--	--	--	--	--	--	--